

本日のゲストスピーカーはとびっきりの美人、ロシアはシベリア、Krasnoyarsk 出身の Marina さん。ところでこの地名、記憶にありませんか？ そうです、先月のスピーカー、ペルーの Sebastian さんのロシア人の奥さん Olga さんも Krasnoyarsk 出身、2 年前の 6 月に日本人のロシアに対するイメージやらシベリア鉄道などについて話してくれました。生まれたばかりの娘さんが将来何語を母国語とするのか、首を傾げていましたね。

さて、Marina さんですが彼女は現在インタープリター、日本ガイドブックをロシアで出版、日本語バージョンに翻訳中とのこと、英語教師もしています。イタリアでロシア人の私がイタリア人に英語を教えたのもおもしろいことですね、とも言っていました。当然ですが、なぜあなたは今日本にいるの？ということを知りたいですね。医師である両親は彼女をイギリスに行かせたかったので 13 歳から 18 歳までロンドンに留学。その後シベリアに帰り、クラスノヤルスクの国立大学の外国語学部に入りました。その中の選択肢は、英語+中国語、英語+韓国語、英語+日本語でしたが、日本はやっぱりアジアの中で特別はイメージがありますので、迷わず日本語学科を選択！そして、大学で日本語や日本文化や歴史などを勉強し、3 年生の時にモスクワ日本大使館での文部科学省の試験に挑戦。その面接に、「漢字は書けますが、話せません」と言ったのに、なぜか一人だけ選ばれました！奇跡的ですねと彼女は言うものの彼女に実力あってのもので、日本のイメージはミラクルな国、最先端の技術、高品質の製品、全てが何となく四次元の世界のように思えたとのこと。母親に日本に行く、と言ったら“ああ、夏 1 ヶ月ね、どうぞ”“違うの、1 年間よ”“ええ〜”と言うような会話があったとか。Marina さん しきりに“私、日本語の会話はどうもあまり上手なくて、”と言っていました。何と日本語能力試験一級をパスしています。

本日のタイトルですが **Japan & Russia; Cultural differences** 当然ロシア料理や、babushka doll などの話が聞けるかと思いきや、彼女が日本に来る前の情報と来てからの現実とのギャップの数々、感心したこと、失敗したこと、変なの〜、何それ、と思ったこと等など それはそれは面白い話題が盛り沢山、会場思わず大爆笑が起こったり、うんうんと頷いたり。スライドの一枚も使わず話術、話題だけでこれだけ盛り上げてくれたゲストスピーカーはあまり記憶にありません。

ではその一つ一つを紹介しましょう。

### 1) 来る前のイメージ、うそ情報

。一般的な日本の家々、駅、交通機関など実際はどんなのだろう、早く体験してみたいと言う期待にあふれていた。

。バナナは一本\$100 するぞ。

。日本人は寄生虫には特別な抗体を持つ人種だ、でな



ければ生物をあれだけ食べるはずが無い。

。乗り物は 500~1000km/hr でぶっ飛んでいる。

## 2) 着いた時、そして買い物

。東京から大阪への飛行機の中でさっそく日本語でのシートボタンをトライ、彼女から試行錯誤という言葉が出てきました。

。箕面の宿舎に着き早速スーパーへ、大好きな **Geisha** を買いに、でも見つからなかった。何故？ これって **Fazer(Finland)**のチョコレートブランド、日本ではそれほど有名ではありませんからね。

。ロシアでは肉と言えば大きなブロック、冷凍庫にどっさり保管、その点日本では親切に料理に応じてスライスされたりしている、値段が高いから安めの豚肉しか買わないけれど。

。日本のきのこ類は見たことの無いものばかり。ロシアでは全て **free**,なぜかと言うと自分たちできのこ狩りに行くから。

。Sweet と言えば甘いはずなのにそうでない物がある。塩味ビスケット、せんべいなどは何なのこれ？と言う感じ。でも美味しい。

。日本国産品はいずれもどうしてこんなに高価なの？

## 3) 容姿、服装について

。日本の若い女性たちのファッションには驚き！ 化粧、ヘアスタイル等クレイジーではないのかしら。ロンドンもファッションは自由だが基本的にはコンサバ、場所によってはパンクも居るが。ロシアでこの様な格好してたら年配の人から注意されそうです。

。男の子でマニキュアしている子も居る。そしてヘアスタイルも考えられない。会社に入ったらきちんとしなければならぬからラストチャンスとってのことかしら。

。日本女性は皆んな美白顔に憧れているの？ ヨーロッパの空港にある化粧品店ではまずお目にかかれない美白クリームがコスメショップに所狭しと展示されており、私も薦められる。ロシアは冬が長いから基本的には皆色白です。日焼けサロンに行っても程よく焼き、厚手の毛皮コートを着込んでいる姿、格好良いとは思いませんか？ ヨーロッパの年配の女性にしみ隠し用として頼まれ送りました。

## 4) 私のお気に入り

。なんといっても回転寿司はミラクル！！ スラブ人はとろみの魚が大好き、だからサーモンやまぐろのとろの握りは最高です。でもとろはちょっと高い。週 2~3 回は **K** 寿司に通っています。デザートには蕨餅！ 黒蜜ときな粉との絶妙な組み合わせはこれぞ日本！ という感じでだ〜いすき。友人はさびぬき、わたしはわさび **OK**.

。京都に行ったら **mac** には入らず隣の高島屋 **B1** に行きばら売りのお寿司を買い込み **2F** の喫茶ルームで頂く、八ツ橋と緑茶の組み合わせも最高のお薦め。

## 5) トイレ

。和式トイレの向く方向ってフラッシュの流れる方向ではないのですね。

。ウォッシュレットは日本が誇るトイレテクニックの傑作品だと思う。最初にトライした時の事、例によってボタンを押してみたらお尻に心地よい温水がしゅ〜っ。さて止めようと思った所どのボタンか分からず思わずパニック。お尻を上げたら自動的に止まるかと思いトライしたが駄目！ 益々慌てふためきどうしよう、トイレが噴水で水浸しか、いや落ち着け、小さく書いてある日本語を読んでみよう、止まるという字はこれだったか、やった〜、ついに成功！！



(この話は最高傑作でした。彼女がお尻丸出しで慌てふためいている姿を連想し会場爆笑に次ぐ爆笑)

友人はウォッシュレットとトイレスペースの工夫光景をカメラで撮りロシアに持って帰ったそう。



## 6) その他様々

。タクシーに乗った時、ドアがスーッと開き座ったらスーッと閉まった。ドライバーの白い手袋もクール。でも料金は世界一高い。

。ロシアの教会は宗教の場所としてだけではなく文化的資産としてそのままの状態に皆に愛されている。日本の神社仏閣には例えば非常口があったり公衆電話が設置されたり実用的な面で手が加えられている。現実的です。

。デートの時、男性は常にお先にどうぞ と引く。未知の危険から守ってくれる為に先に行くのが男の役割なのでは？

またレストランでウェイターが彼にのみワインのテイストをさせ説明した。なぜ私にも説明してくれないのよ、私にも聞かせてとアピールした。

。歓迎レセプション、おなかを空かして料理を前に待つことしきり。大好きなサーモンのお寿司もある。長いスピーチの後早速食べようと思ったら箸のみフォークなし。まだ箸は使えません。ええーい、指ばしで行っちゃえ。もぐもぐしていたら先生が来て挨拶、笑顔でごまかすしかありませんでした。

。PCの前では足元が寒い。正座が最高と言うことを発見、でも長くは出来ません。

。今度両親が来ます。その時に買いたいものは冷蔵庫です。ロシアでは安いものから \$5,000 するものまであるがやっぱり日本の物には劣ります。日本電気製品は素晴らしい。日本の大企業のメーカーさんはシベリアどころか、ロシアにはまだまだ行っていません。寒いからかな〜？これは彼女の弁。

。母親にコラーゲンを定期的に送っています。美容健康に良いから。

いやー楽しかった。本にする時どの話題が良く、どの話題が面白くなかったか、さらにどんな話題を取り上げたらよいと思うかアンケート用紙が配られましたが、彼女の為にも皆さんからの活発なご意見お待ちしております。テレビの県民ショーという番組を見たらというアドバイスも早速ありました。彼女の美貌に日本の落語のキャラが加味されるとさらに効くでしょうね。彼女の将来は本を書くこと、できればテレビにも出たいことだそうです。早くその本を読みたいし、テレビの画面でおおーっ！！ 彼女だ～、と言いたいものです。